

2020年12月9日
第一生命保険株式会社

データヘルス・予防サービス見本市 2020 にて優秀賞受賞 (主催：厚生労働省)

第一生命保険株式会社（社長：稲垣 精二、以下「第一生命」）は、データヘルス・予防サービス見本市 2020(12月1日-2日:大阪会場)に株式会社 QOLeap(社長:岩井 泰雅)、みずほ情報総研株式会社（社長：向井 康真）と共同出展し、「DH-1 グランプリ 2020 優秀賞」を受賞しました。

今回の見本市では、AI を活用した将来の医療費予測の分析を通じて、健保組合の保健事業の効率化と医療費抑制を支援するサービス「HealstepSM（ヘルステップ）」(2021年4月提供開始予定)をブースにてご紹介しました。

この度の「優秀賞」受賞は、2日間にわたるデータヘルス・予防サービス見本市に来場された健康保険組合・自治体・企業等による「ソリューション／サービスが優れている・利用したい出展者」の視点での投票を受け、決定されたものです。

第一生命グループは、お客さまの「一生のパートナー」として、更なるQOL向上への貢献を目指します。従来の「保障」に加えて「健康・医療」に資する価値提供を通じ、健保組合の財務健全性の向上や事務効率化に貢献するとともに、組合員一人ひとりが健康で生き生きとした生活を送れるようサポートしていきます。

